

# 知行合一

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校  
学校だより 第1号  
平成31年4月9日  
文責 校長 畑口益喜

葦北の 野坂の浦ゆ船出して 水島に行かむ 浪立つなゆめ  
長田王

## 24名の新入生のみなさん、入学式おめでとう！

皆さんは、いよいよこれから、中学生としての第一歩を踏み出します。今日の気持ちを忘れず、友人や先輩、先生達とのふれ合い、保護者や地域の皆様への感謝の心を大切にして、やり切った感のある3年間にしましょう。

聞き慣れた話ですが、「子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就く」や、「今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」などの予測がされています。また、2045年には人工知能が人類を越えるという指摘もあります。将来の変化を予測することが困難な時代を前に、皆さんには、現在と未来に向けて、自らの人生を切り拓き、自らの生涯を生き抜く力を培っていくことが求められます。



新元号の出典となった「万葉集」には、山上憶良の

「銀（しろがね）も金（こがね）も玉も何せむに 勝れる宝 子にしかめやも」

銀も金も玉（翡翠など）もどれほどのことがあろうか。どんな宝も子供には遠く及びはしない。という歌があります。しかし、貴金属も宝石も誰かが見出し、鍛え、磨かなければ「原石」のままです。保護者と地域の皆様は、この3年間で社会に出したときに通用する人間に育て上げるということを第一義に、「自立」という視点で子どもたちに接していただきたいと思います。

私達職員も、心を一つに「潤いと輝きにあふれる学校」を目指して、常に支えとなり、時には高い壁となり子どもたちの教育指導に全力で取り組んで参りますので、本校の教育に対しての深いご理解とご協力を賜りますようお願い致します。



# 『芦北町立田浦中学校』で検索を

いつでも、どこでも、誰でも、どんな時間にでも田浦中の情報を得やすくするため、ホームページとFacebook（修学旅行時など）で情報発信をしています。ぜひご検索ください。

主な構成は以下のとおりです。

**※生徒の写真は、保護者に承諾の上掲載しています。転載は厳禁です。**



- 学校カレンダー：今年度の行事を載せています。変更があった場合は文書でのお知らせと、HPの更新を行います。（毎年4月初旬更新）
- 学校生活（随時更新）：行事の様子を写真と一緒に紹介します。
- 生徒・保護者の皆さんへ：全校生徒や各学年へのお知らせ、学校のきまり、案内文書、提出物の書式等を載せています。新入生説明会前後には関係資料も載せます。
- 部活動情報：練習計画、大会・練習試合の日程等を載せます。応援の参考にしてください。
- 学校だより（毎月更新）：毎月2回程度発行。生徒の活動の様子、行事予定、裏面にはプログラムの抜粋版を載せています。HP版では生徒氏名はイニシャルにしています。
- 校長ブログ『秘密の部屋』（ほぼ毎日更新）：雑記です。毎日更新にチャレンジしています。
- 校区の概況・学校沿革史：校区の様子、創立時からの学校の歴史を載せています。卒業生の皆さんが在学時の生徒数や主な出来事がわかります。
- 本校の教育：教育目標、学力調査の結果、学校評価等（年度末と年度初めに更新）
- 校歌・PTAの歌：校歌は4番まで掲載。同窓会を開かれる時などにご活用ください。
- フォトアルバム：校舎、大雪の時の写真等を掲載しています。同窓会や還暦祝いなどの集合写真がありましたらデータをご提供ください。HPに掲載します。
- 田浦中同窓会：同窓会規約、役員等を掲載しています。
- いじめ防止基本方針：いじめの定義、学校の方針等を掲載しています。
- 情報安全・情報モラル：スマホやSNS等の危機管理情報を掲載しています。
- スクールバス予定表：当月のスクールバスの運行予定表を掲載しています。

## 【秘密の部屋】毎日更新を目指しています。

### 【小中合同歓迎会】310404

今日、小中学校合同で歓迎会を開きました。平成28年度から年に2回ほど合同で懇親会を開いていましたが、学期が始まってしまうと全員が参加するのは困難でした。また、4月の段階で両学校の職員全員が顔を合わせ、協力して「田浦っ子」を育てようという意識を高める機会を持つことが大事だと考えていました。今回はスクールカウンセラーの緒方先生にも参加していただき、充実した会になりました。

小学校は百原校長先生、清永先生、中学校は私、吉井（旧姓：堀田）先生、大岩先生が田浦出身。百原校長先生からは、「昔は小学生から中学生になるのにとってもギャップがあった。」という話を聞きました。確かに、中学校は宇宙や深海のような未知の世界でした。「中学生はみんな二人乗りをしていたので、中学生になったら二人乗りをしてよいと思っていた。」という話もされました。中学生になって、それは違反行為だということが分かったそうです。中学生の姿を小学生はしっかり観察しているんですね。

田浦中生のみなさん、そういうことです。よろしく頼みます。（H）

表題の歌「葦北の～」は、新元号『令和』の出典である『万葉集』の巻3第246首です。入学式の式辞も『有識者会議』のメンバーである山中伸弥教授の「研究の過程では10回挑戦して、9回は失敗している。若い時は何度でも失敗できるから、失敗を楽しんで欲しい。」という話を入れました。中学生時代は「挑戦、失敗、挑戦」の繰り返しで生きる力がつきます。